

REPORT.2

黑白写真の制作 ② [黑白フィルムの現像処理の実際]

現像処理におけるエコロジー

フィルムの現像処理をどのように行うかは、黑白写真の画質を左右する鍵を握っている。フィルムの画質を向上する研究は進み、新製品として優れたフィルムが発売されてきた。現在の黑白フィルムは相当に高画質になっている。

撮影済の黑白フィルムを、高画質に現像処理する方法と処理液が研究された。フィルム現像液には、微粒子現像、高鮮鋭現像などの目的のはっきりした処理液と処理方法が実用化している。その結果、かなり画質の優れた画像ができる現像液や現像方法が開発された。しかし、これらの方法は、現像処理に使う処理液の数、薬品の数などが増加し、現在のエコロジーに貢献する方法から離れることになった。黑白フィルムの現像処理について、エコロジーを考慮するならば、処理の原点である基本的な工程（現像・定着・水洗・乾燥）により現像処理し、シンプルな組成の処理液を使用することが望ましいと思う。現在の黑白フィルムは、このような基本的な現像処理をしても、十分実用に耐える高画質になる。



黑白フィルム現像処理の実際

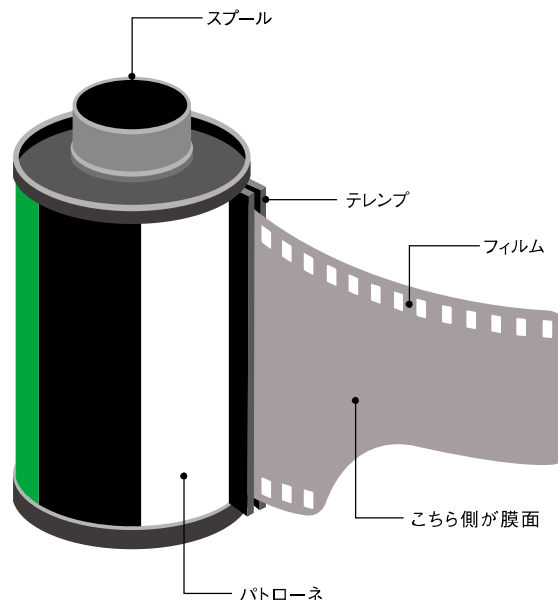
黑白フィルムと現像タンクへの装填 ①～④

1 黑白フィルム（135、120）の構成と扱い方

1) 35ミリフィルム

パトローネ入りの35ミリフィルム、36枚撮り（135-36、ライカ判）は、フィルム部分が幅35mm・長さ約160cmで、これをスプール（軸）に巻きつけて遮光容器に入れてあり、フィルムの先端（べると呼ぶ）がテレンプ部分（フィルムの出入り口）から出ている（図①）。

図① 35ミリフィルム



CONTENTS

REPORT.2

黑白写真の制作 ② [黑白フィルムの現像処理の実際]

| | |
|----------------------|----|
| ■ 黑白フィルム現像処理の実際 | 15 |
| 黑白フィルムと現像タンクへの装填 ①～④ | 15 |
| 現像処理の工程と条件 ⑤～⑧ | 19 |
| 現像から定着まで ⑨～⑪ | 21 |
| 水洗から乾燥仕上げまで ⑫～⑬ | 24 |
| 参考 | 25 |

カメラにパトローネ入りフィルムを装填し、パトローネからフィルム部分を引き出しながら撮影し、終了後にカメラ内でパトローネにフィルムを巻き戻す。このとき、フィルムの先端部分は、パトローネのテレンプ部分から少し出しておく方法と、パトローネ内に巻き込んでしまう方法がある。フィルムの先端がパトローネから出ている場合は、暗室でフィルムを引き出しながら現像リールに巻き込み、後ろの部分を缺などでカットする。パトローネにフィルムを